指定管理者事業報告概要

施設の概要			
施設名	大谷東小第二学童保育館		
所在地	小山市新倉横田271番地		
制度導入年	平成24年4月	所管課	こども課

指定管理者の概要			
指定管理者	大谷東小第二学童保育クラブ		
所在地	小山市大字横倉新田259番地8		
指定期間	令和3年4月1日	～	令和6年3月31日
		指定年数	3年
選定方法	指名	指定管理料	指定期間合計
受託区分	更新		令和4年度

運営業務の概要			
主な業務内容	児童の保育	常駐職員数	7人
	児童の入退所に係る事務	開館時間	平日 12時30分 ～ 19時00分
	施設・設備の維持管理及び軽易な修繕		土日祭日 7時30分 ～ 19時00分
	保護者負担金の徴収	休館日	日、祝日、年末年始、お盆

利用実績				
	R02	R03	R04	前年比
利用者数 (人)	21	37	38	102.7%
利用件数 (件)	-	-	-	-
使用料・利用料 (円)	1,611,300	3,454,600	3,543,200	102.6%

収支実績				
	R02年度決算額	R03年度決算額	R04年度決算額	前年比
収入 (円)	12,408,853	11,677,713	13,400,061	114.7%
指定管理料	8,508,118	6,916,456	8,578,484	124.0%
その他収入	3,295,044	4,090,561	4,141,440	101.2%
繰越金	605,691	670,696	680,137	101.4%
支出 (円)	11,738,157	10,997,576	12,808,491	116.5%
人件費	7,800,896	7,491,834	9,575,597	127.8%
事業費	1,279,272	1,638,199	1,597,520	97.5%
事務費	383,273	716,746	445,104	62.1%
維持管理費	2,274,716	1,150,797	1,190,270	103.4%
収支 (円)	670,696	680,137	591,570	87.0%

利用者アンケートの結果（満足度）※ 所管課が実施・判定					
5：80%以上 4：60～80% 3：50～60% 2：30～50% 1：30%未満	利用日・時間	使用料・利用料	職員の応対	業務内容	施設・設備管理
	5	4	5	5	5

指定管理者の自己評価	
総合評価	
S：優良 A：良 B：標準 C：要改善 D：不適切	<h1>A</h1>
評価理由、今後の課題等	
<p>誕生会や夏休み中の様々な行事を子ども達自身の意欲を促進しながら実施している。 熱中症対策に配慮しながら子どもの健全育成のために、外遊びを重要ととらえた保育をしている。 高学年の児童に、リーダーとしての役割を折々に与え、縦割りならではの保育を重要視している。 保護者会という観点から、年に4回保護者交流会の場を作り、保護者の交流、学童への感想・意見を吸い上げる場所としている。 お迎え時に指導員から積極的な保護者への声掛けを行い、学童への理解・協力を今後も求めていきたい。</p>	

令和4年度実施 利用者アンケート結果の概要

施設名		大谷東小第二学童保育館
指定管理者		大谷東小第二学童保育クラブ
所管課		こども課
アンケート実施時期		令和4年12月1日(木)～令和4年12月31日(土)
アンケート回答件数		27件(推定回答率 89%)
アンケート結果の総評 ・利用日・時間 ・使用料・利用料 ・職員の対応 ・業務内容 ・施設・設備管理 ・その他	好評だった点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の児童への態度、対応 ・ 児童の怪我や体調不良への対応 ・ 児童に関すること、子育てについての相談しやすさ ・ 児童の衛生・健康管理 ・ 学童でのイベント、活動、遊び等 具体的にはお誕生日会、夏休み関係イベントなどが挙げられた。 ・ 総合的な満足度は「満足」70%、「おおむね満足」30%だった。
	不評だった点	<ul style="list-style-type: none"> ・ おやつを揚げ物や駄菓子ではなく、なるべく体に良いものにしてほしい。
アンケート結果から、改善等を実施したこと(予定含む)		保育料については、小山市の方針としても学童内での全児童の保育料一律化の方向に進んでいる事や、小山市内の学童保育クラブの料金体制の動向なども含めた説明を引き続き丁寧に行うことで理解を得たい。 長期休み等時の開所時間については現在の7:30開所で進めていきたいが、入所説明時に開所時間と勤務先との調整に問題がないかなど、より丁寧な説明をしていきたい。 指導員の児童への対応については職員の入替えが重なり、教育指導が不十分だった。今後はより個々の職員の資質向上を目指していきたい。 相談しやすい環境づくりとして、保護者交流会の開催やお迎え時における声かけ働きかけをふやしたい。 おやつ手作りを社会状況を見ながら栄養面からも考えていきたい。